

船舶事故調査報告書

令和5年8月2日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）
委員 田村 兼吉
委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員負傷
発生日時	令和5年3月11日 08時46分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市釜島 ^{かま} 東方沖 櫃石港 ^{ひつし} 4号防波堤灯台から真方位079° 2.3海里（M）付近 （概位 北緯34° 25.4′ 東経133° 51.2′）
事故の概要	プレジャーボート麻理衣丸 ^{まりい} は、揚錨作業中、船長が負傷した。
事故調査の経過	令和5年4月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート 麻理衣丸、1トン OY3-23912（漁船登録番号）、個人所有 7.87m（Lr）×1.91m×0.50m、FRP ディーゼル機関、58.85kW、昭和58年10月 第271-19059号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 59歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和61年11月14日 免許証交付日 令和3年10月14日 （令和8年11月13日まで有効）
死傷者等	重傷 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣りの目的で令和5年3月11日06時30分ごろ、釜島北方沖に向け、倉敷市児島下の町の係留地を出航した。 船長は、06時45分ごろ、釜島北方沖に到着した後、しばらく漂泊して釣りを行っていたが、釣果が思わしくなかったため、08時15分ごろ、同島東方沖の水深約24mの場所付近に移動した。 船長は、船首から直径約15mmの化学繊維製の錨索を出して錨泊をすることとし、錨索の長さが、水深に対して錨を十分に効かせるには

	足りないと思い、同じ太さの錨索を結んで延長して使用し、船首を東方に向けて錨泊し、釣りを再開した。 船長は、釜島東方沖でしばらく釣りを行っていたが、釣果が思わしくなかったため、帰港することとし、右舷船首部に設置された縦型のウインチのローラ部（以下「本件ローラ」という。）に錨索を２回巻き付け、本件ローラの船尾側に立って錨索を引き、張力を掛けて揚錨を開始した。 船長は、延長した錨索との結び目が船上まで揚がってきたので、結び目をローラ部分からかわそうとして右手で錨索を本件ローラの至近でつかんで、本件ローラから錨索を外そうとしたところ、０８時４６分ごろ、船体の僅かな動揺により錨索が船首側に引かれ、本件ローラに右手を巻き込まれた。（図１参照） 図１ 船長が錨索をつかんだ状況（再現） 船長は、揚錨を断念し、包丁を使用して錨索を切断して錨を海中に放棄し、自力で操船して帰港した。 船長は、帰港中に携帯電話で救急車の要請をし、搬送された倉敷市内の病院で、右環指切断と診断された。 （付図１ 事故発生場所概略図、写真１ 本船 参照）
その他の事項	船長は、これまで錨索をつかんで本件ローラから外す際、本件ローラの至近で錨索をつかんでも無難に錨索を外すことができしており、本事故時も同様に外すことができると思った。 船長は、本件ローラから離れた位置で錨索をつかんでいれば良かったと本事故後に思った。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、釜島東方沖で揚錨作業中、船長が、錨索の結び目を本件

	ローラからかわそうと思い、本件ローラの至近で錨索を右手でつかんだことから、船体の動揺により錨索が船首側に引かれて張力が掛かった際、右手が本件ローラに巻き込まれ、負傷したものと考えられる。 船長は、これまで錨索をつかんで本件ローラから外す際、本件ローラの至近で錨索をつかんでも無難に錨索を外すことができていたことから、本事故時も同様に、本件ローラの至近で錨索を右手でつかんでいたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、釜島東方沖で揚錨作業中、船長が、錨索の結び目を本件ローラからかわそうと思い、本件ローラの至近で錨索を右手でつかんだため、船体の動揺により錨索が船首側に引かれて張力が掛かった際、右手が本件ローラに巻き込まれたことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 船長は、ローラを使用して揚錨する際、ローラの至近で錨索をつかむと船体の僅かな動揺であっても錨索に張力が掛かった際、錨索が引かれてローラに手が巻き込まれることがあるので、錨索は、ローラから離れた位置をつかむこと。 ・ ローラから錨索を外す際、ローラを停止してから行うこと。

付図1 事故発生場所概略図

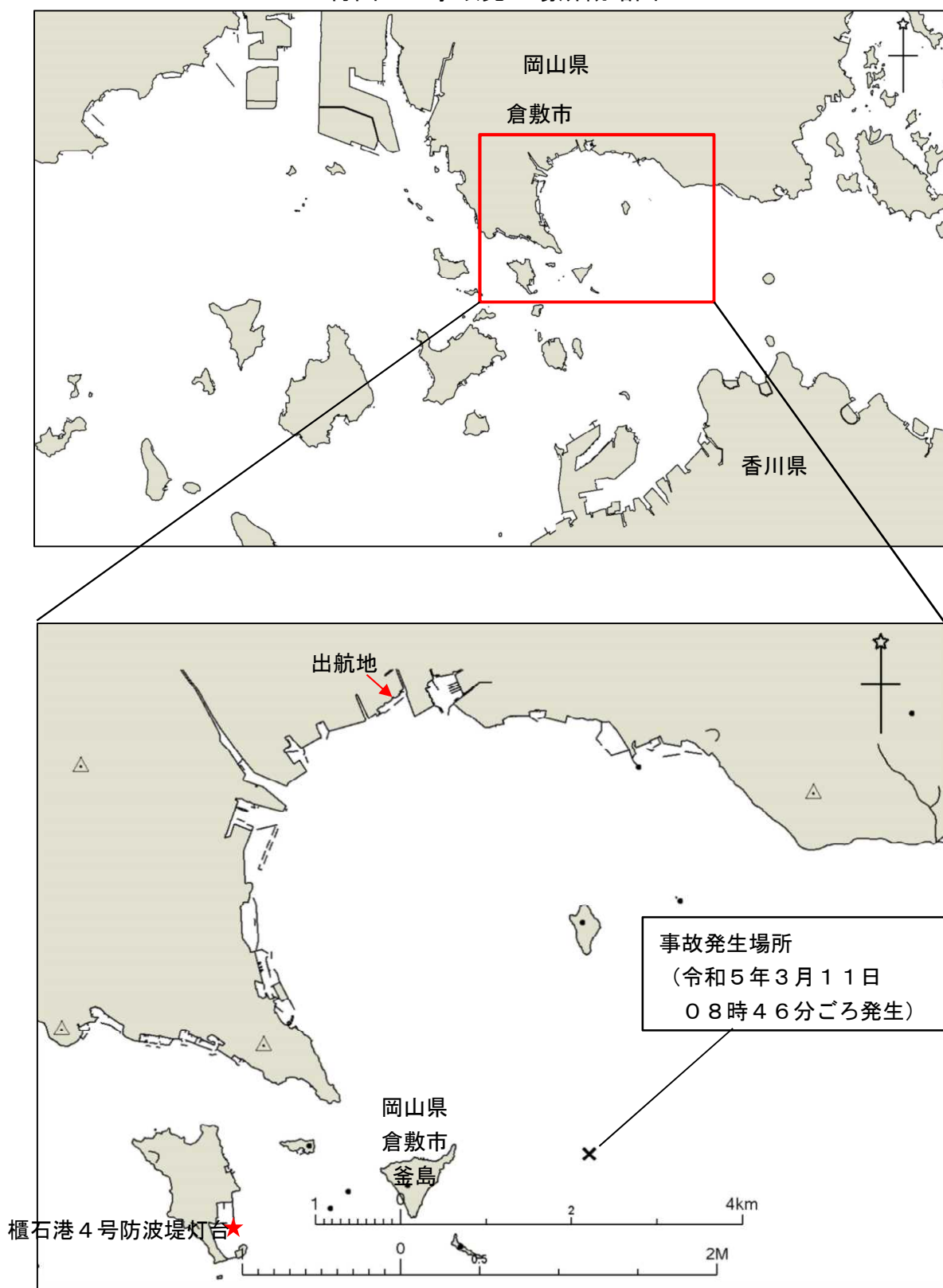


写真 1 本船

